

地域密着型特別養護老人ホームたんちょう
小規模多機能型居宅介護かわせみ
鴻上居宅介護支援事業所
地域密着型介護支援事業所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護はやぶさ
ケアコンプレックス鴻上

デイサービスセンターふくろう
ショートステイこうのとり
定期巡回・随時対応型訪問介護看護はやぶさ



発行
社会福祉法人正和会

発行責任者 菅原 哲
編集責任者 伊藤大士

正月行事



明けましておめでとうございます。早く速、ケアコンではお正月らしく、恒例行事の餅つきを行いました。皆が見守る中、力強い一打ち。「それ、もう一丁！」と調子を上げて、ペッターンペッターンと心地の良い音を響かせ、ホールを盛り上げました。

見た目にも伸び伸びと、ビヨーンとした仕上がりに満足したところで、いよいよ実食です。きな粉、ごま、あんこを用意し、お好みに合わせてトッピングを味わいました。

お正月行事はまだまだこれからです。お次は、書初めに福笑いを行いました。



書初めでは、うま、落とし玉、など、思いの言葉を指先に込めて、筆を走らせます。背筋もピンと伸びて、「とめ・はね。はらい」筆の三原則を形作る技法が、文字の節々に込められているようですが。聞くと、やはり習字を習っていたのだと、文字が綺麗というのはうらやましいですね！

福笑いのほうも盛り上りました。どれもユニークな仕上がりで、これだけ笑つたので、今年もたくさんの福が訪れるでしょう！

介護の制服がリニューアルしました!!



新年を迎えるにあたり、介護の制服もリニューアルします。今まで慣れ親しんだ、「正和会と言つたらピンク」の印象が強かつた制服から、今度は大幅チエンジ。
傘口ゴがトレードマークの「アーノルド・ペーマー」になります。ブルー、ネイビー、グリーン、ローズ、コーラル、ワインのなんと計六色から、職員思いの色を選択し、ケアコンプレックス潟上では、二月より本格移行となります。着用にはまだ気恥ずかしさを見せて、いますが、新制服で気持ち新たに一層業務に励む職員が見られることがあります。

百歳の祝い!!



吉田リツ様が一月三十日に満百歳を迎えるました。前回、新聞(令和七年十月号)でもご紹介しましたが、その際は地域振興局様による数え年でのイベントでした。

この度、正式に百歳を迎えるらえたことを受け、ふくろうにてお祝いをしました。

職員がこの日の為に、心を込めて作った作品や、メッセージカードが贈呈されました。

リツ様から「私がふくろうで初めての百歳ですか?」と冗談交じりに話されるなど、負けん気とパワーで、周囲を驚かせました。

リツ様から「私がふくろうで初めての百歳ですか?」と冗談交じりに話されるなど、負けん気とパワーで、周囲を驚かせました。

エスカレーター前の大きな噴水、賑やかだったゲームコーナー。当時ポケモンのゲームソフトが大きな話題となり、必死の思いで親を説得して、買って貰った記憶があります。

四十年余りの歴史が閉じるのは寂しい事ですが、建替えての再オープンを

また新しい思い出が生まれる場所になる事を、楽しみに待ちたいと思います。

後記集編

す。

せました。最後はお祝いのケーキをみんなで頂いて、記念撮影をしました。リツ様、おめでとうございます。

先日、イオン土崎港店

(土崎ジャスコ)に行って、

買い物をしてきました。

この二月に閉店となる

通称「崎ジャス」には、懐かしい思い出がたくさん

あります。

エスカレーター前の大きな噴水、賑やかだったゲームコーナー。当時ポケモン

のゲームソフトが大きな

話題となり、必死の思い

で親を説得して、買って貰った記憶があります。

四十年余りの歴史が閉じるのは寂しい事ですが、建替えての再オープンを

また新しい思い出が生まれる場所になる事を、楽しみに待ちたいと思いま